

## 臨床心理室

和田 晃

### 1.スタッフ

臨床心理室長：和田晃（兼統括診療部長）

常勤スタッフ：仲倉高広、安尾利彦、森田眞子

非常勤スタッフ：大谷ありさ、速見佳子

エイズ予防財団リサーチレジデント：宮本哲雄、鍛冶まどか

遺族専門家相談員：西川歩美

### 2.概要

2007年7月より臨床心理室は、①病院の理念に基づく事業であること、②質の高い医療の提供に貢献すること、③疾患と心理状態の関連が研究されていること、④医療者-患者関係と保健行動との関連が医療の効果を左右すること、⑤診療科間のサービスの格差をなくすこと、以上5点の目的や理由により、全診療科の患者やその家族等に対応可能な臨床心理室として再編された。平成23年度より常勤心理療法士3名、非常勤心理療法士2名、エイズ予防財団リサーチレジデントの心理療法士2名、遺族相談員の心理療法士1名の、合計8名体制となった。

現在臨床心理室は、臨床心理室運営委員会で審議した活動目標や計画をもとに、患者や家族等の心理相談、心理検査、各診療科・チームとのリエゾン・コンサルテーションといった心理臨床活動に加え、臨床心理室内のカンファレンス、臨床心理学専攻の大学院生の実習受け入れ、近畿グループ管内のメンタルヘルス相談、心理に関する研修の企画・運営・講義・講演、そして、研修を主に行っている。

今後の臨床心理室は、スタッフの心理臨床能力の向上・維持を図り、より多くの患者や家族等に対して質の高い臨床心理学的援助支援を提供していくことが、もっとも重要であると考えます。そのため、各スタッフが研修やスーパーヴィジョンを受けやすい労働環境を整えること、臨床心理室内のカンファレンスや事例検討など、教育体制を充実強化することを通してスタッフの質の向上を図ることが課題である。

日々の実践に加え、厚生労働科学研究費による研究班に分担研究者や協力者として貢献すること、実習受け入れによって後進の指導に参加すること、総合病院における臨床心理室の役割を他施設に伝えることを通し、医療の総合的な充実に資することも、当臨床心理室にとって重要な任務である。

以上まとめたように臨床心理室の業務は、心理相談や心理検査などの臨床業務は当然のことながら、各種研修や研究班の活動など、多岐にわたっている。

【2014 年度研究発表業績】

A-5

仲倉高広：HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV 陽性者の心理学的問題の現状と課題に関する研究」平成 24-26 年度総合研究報告書、P.71-110、2015 年 3 月

仲倉高広：HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV 陽性者の心理学的問題の現状と課題に関する研究」平成 26 年度総括・分担研究報告書、P.71-94、2015 年 3 月

A-6

速見佳子：子どもの吃音をきっかけに来談した女性との面接過程。大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要第 20 号 pp.3-11、2014 年 12 月

B-4

仲倉高広、矢嶋敬史郎、白阪琢磨：血友病で HIV 感染症をもつ 青年期男性の心理療法について ～生き続けることを支える～。第 28 回日本エイズ学会・学術集会・総会。大阪、2014 年 12 月

仲倉高広、宮本哲雄、鍛冶まどか、下司有加、白阪琢磨：関西と東海の HIV 陽性者における 受診前、受診後の 物質使用状況の把握。第 28 回日本エイズ学会・学術集会・総会。大阪、2014 年 12 月

安尾利彦、仲倉高広、白阪琢磨、山中京子：HIV 医療におけるカウンセリング機能の明確化の試み—仮想事例に対する援助方法に関する記述分析から—。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

宮本哲雄、仲倉高広、白阪琢磨：HIV 領域における「心の整理法」の有用性と導入時の留意点についての検討。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

西川歩美、仲倉高広、下司有加、白阪琢磨：大阪医療センターにおける薬害HIV遺族健康診断の取組みを通じた今後の遺族支援の検討 第28回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014年12月

大谷ありさ、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、速見佳子、鍛冶まどか、西川歩美、廣常秀人、白阪琢磨：初診時より 1 年間における相談行動と定期受診・抗 HIV 薬の飲み忘れに関する研究。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪、2014 年 12 月

B-8

仲倉高広：病院心理臨床学概論。京都大学教育学部、京都、2014年4～7月

仲倉高広：カウンセリング法。京都医健専門学校、京都、2014年4～7月

仲倉高広：臨床心理学特論。梅花女子大学大学院、大阪、2014年4～12月

安尾利彦：健康管理・メンタルヘルスについて。大阪医療センター新採用職員研修、大阪、2014年4月

西川歩美：グループファシリテーション。平成26年度遺族交流会、東京、2014年5月

安尾利彦：ストレスとは。大阪医療センター看護部主催セルフケア研修、大阪、2014年6月

安尾利彦：セルフケアとは。大阪医療センター看護部主催セルフケア研修、大阪、2014年6月

安尾利彦：グループファシリテーション。大阪医療センター看護部主催セルフケア研修、大阪、2014年6月

森田眞子：グループファシリテーション。大阪医療センター看護部主催セルフケア研修、大阪、2014年6月

仲倉高広：HIV陽性者とスピリチュアル・ケア、関西学院大学、兵庫、2014年6月

仲倉高広：対人関係。京都橘大学看護教育研修センター、京都、2014年6月

森田眞子：HIV陽性者の心理的支援、HIV陽性者の看護③チーム医療：チーム診療の実際。HIV/AIDS看護師研修会初心者コース、大阪、2014年6月

西川歩美：講師。平成26年度遺族相談員研修会、大阪、2014年7月

仲倉高広：平成26年度メンタルヘルス講習会。国立病院機構京都医療センター、京都、2014年8月

仲倉高広：臨床牧会実習、関西学院大学大学院神学部、兵庫、2014年8月

仲倉高広：「若手とともに考える心理臨床家の専門性の伝え方：社会にいかに関信するか」。日本心理臨床学会第33回秋季大会、広報委員会企画シンポジウム、神奈川、2014年8月

仲倉高広：「ジェンダーコンシャスなアプローチ（9）－臨床実践現場にみるジェンダー観－」。日本心理臨床学会第33回秋季大会、自主シンポジウム、神奈川、8月

仲倉高広：平成26年度北海道HIV/AIDS医療者研修会専門職研修。北海道、9月

安尾利彦：HIVとカウンセリング。西日本HIV感染症研修、大阪、2014年9月

森田眞子：HIV陽性者の心理的支援、HIV陽性者の看護③チーム医療：チーム診療の実際。HIV/AIDS看護師研修会初心者コース、大阪、2014年9月

速見佳子：「死ぬんじゃないかという不安」を主訴に来談した男性との面接過程。HIV医療におけるカウンセリング研修会、大阪医療センター、2014年10月

仲倉高広：第10回HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議、研修会、広島、2014年10月

安尾利彦：HIVとカウンセリング。HIV感染症医師実地研修（1ヶ月コース）、大阪、2014年10月

安尾利彦：HIVとカウンセリング。HIV感染症看護師実地研修（1ヶ月コース）、大阪、2014年10月

安尾利彦：HIVと物質依存。HIV感染症医師実地研修（1ヶ月コース）、大阪、2014年10月

安尾利彦：HIVと物質依存。HIV感染症看護師実地研修（1ヶ月コース）、大阪、2014年10月

安尾利彦：心理支援・カウンセリングとは。エイズ予防財団平成26年度HIV検査相談研修、大阪、2014年10月

安尾利彦：グループファシリテーション。エイズ予防財団平成 26 年度 HIV 検査相談研修、大阪、2014 年 10 月

森田眞子：グループファシリテーション。エイズ予防財団平成 26 年度 HIV 検査相談研修、大阪、2014 年 10 月

宮本哲雄：グループファシリテーション。エイズ予防財団平成 26 年度 HIV 検査相談研修、大阪、2014 年 10 月

西川歩美：グループファシリテーション。平成 26 年度遺族交流会、岡山、2014 年 10 月

仲倉高広、榎本てる子：ワークショップ：「物資依存・HIV 陽性・セクシュアル・マイノリティを併せ持つ当事者の思いを聴く」グループミーティングの参与観察とディスカッション。第 28 回日本エイズ学会・学術集会・総会。大阪、2014 年 12 月

安尾利彦：ストレスとは。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2014 年 12 月

安尾利彦：セルフケアとは。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2014 年 12 月

安尾利彦：グループファシリテーション。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2014 年 12 月

森田眞子：グループファシリテーション。大阪医療センターメンタルヘルスサポートチーム「なのはな」主催セルフケア研修、大阪、2014 年 12 月

安尾利彦：グループファシリテーション。平成 26 年度遺族交流会、京都、2014 年 12 月

宮本哲雄：グループファシリテーション。平成 26 年度遺族交流会、京都、2014 年 12 月

森田眞子：グループファシリテーション。平成 26 年度遺族交流会、京都、2014 年 12 月

西川歩美：グループファシリテーション。平成 26 年度遺族交流会、京都、2014 年 12 月

大谷ありさ：グループファシリテーション。平成 26 年度遺族交流会、京都、2014 年 12 月

速見佳子：グループファシリテーション。平成 26 年度遺族交流会、京都、2014 年 12 月

西川歩美：講師。平成 26 年度遺族・患者相談員合同研修会、大阪、2015 年 2 月

仲倉高広：事例提供。HIV 感染症と物質乱用を併せ持つ方への心理療法についての研修会、東京、2015 年 2 月

仲倉高広：「メンタルヘルスについて」、村田製作所本社新入社員研修、京都、2015 年 3 月